

橘北地区まちづくり通信

新型コロナウイルスの感染拡大で、まちづくり委員会活動の自粛や回数の縮小を余儀なくされています。

自治会の日常的な活動についても回数を減らしたり、取りやめたりする動きがあり、住民同士をつなぐ活動の停滞は、支援を必要とする住民の孤立や、地域の防災力低下につながりかねません。

コロナ禍の中でも集まり方を工夫しながら一歩ずつ催しの開催を進めていきたいと思えます。

発行：橘北地区まちづくり委員会
 広報・しもなか通信分科会
 発行責任者：委員長 田中 正俊



コロナ禍の中での活動一歩ずつ前へ

防災・減災（救護・応急手当）分科会 防災リーダー連絡会
 地域防災や避難所の関連事項は自治会連合会が主となる案件ですが、有識者や地域の関係者も参画し分科会が中心となって行っています。

8月15日



●小田原市いっせい総合防災訓練がコロナ禍で中止となり、8月15日に新型コロナウイルス感染症への風水害避難場所運営対応訓練を9月13日には救命講習と減災セミナーを域避難所運営委員会・自治会連合と連携して、地域独自に行いました。

●12月6日には資機材取扱い訓練（仮設トイレ・給水・炊き出しなど）を行います。

年明けにはHUG（避難所運営ゲーム）やDIG（災害想像力ゲーム）を行う予定です。また昨年度に行われた地域の防災意識アンケートのデータを基に地域の防災力強化のために講座等を行う予定。

●下中小学校区広域避難所運営マニュアルの改定と実際の活動の手引き書の作成

●防災リーダーの組織化の検討と活用についての話し合いが行われています。

9月13日



防犯・青パト導入検討分科会

- のぼり旗、看板の設置と維持管理
- 現在までに3回の会議を行い、情報提供や意見交換を行いました。
- 橘ブルーアイスへの今後について話し合っています。



コミュニティバス検討分科会

- 8月1日まちづくり交通課交通政策係も参加して地域の路線バスについて、タクシーの営業エリア問題、今後の地域の足の確保について話し合われました。
- 2回目の会合は路線バスの実証運行後の再編の確定後に行う予定です。



広報・しもなか通信分科会

- 20、21号発行
- 22号（8、9月版）より新型コロナウイルス感染症の影響で学校の授業や行事の変更により、カレンダーを表面に集約した紙面に変更しました。
- 23号「たちきた3150広場」開設（若者言葉でサイコー広場）中学生以下の子供たちからの投稿を掲載するコーナーで、中学生の視点での記事づくりをお願いしています。QRコードを読み込むと、Instagramで過去の記事を閲覧できます。



編集会議中

交通安全分科会

- のほり旗、看板の設置と維持管理

文化・教育分科会

- 第1回の会議を7月8日に行い、メンバー紹介と活動計画案について討議し、感染症による影響で「音楽フェスティバル」を今年は開催しないで、来年開催出来るか検討することとなりました。来年は中学生の日程がタイトで開催が厳しい状況です。
- 下校時みまもり隊
8月にみまもり隊追加募集を掛けましたが残念ながら希望者は「0」でした。
年度末に再度募集をして希望者を募ります。
- 凧揚げ大会を令和3年1月24日（日）雨の時は1月31日（日）に開催予定です。

福祉・健康づくり分科会

- 地域や学校にのほり旗や卓上ミニのほり旗「うがい てあらい 除菌殺菌予防」「消毒 感染症予防」などを設置
- 新型コロナウイルス感染症啓発グッズの購入と設置
- 災害時やイベント開催時のために非接触型体温計を購入



地域団体連絡会

- 7月5日に第1回が開催されました。当日は、守屋新市長にご出席をいただき、各団体からの報告・意見のほか、路線バス・地域の足について、また新型コロナウイルスによる地域行事の中止等、地域全体の現状と課題について意見交換が行われました。守屋市長からの総評として、路線バス減便や災害対策・避難所運営等の課題認識が挙げられました
- 11月8日の第2回連絡会では、幼稚園児減少の中保育所と幼稚園を兼ねる認定こども園について説明また募金についての説明を受けました。

高齢者、認知症による徘徊や行方不明問題について、情報提供の在り方、体制作りを進めなければならない課題があります。団体間の資機材の貸し借り、共有について、リスト化し共有できるように検討しています。

自治会あいさつの日 ～全市一斉あいさつ運動～

- 下中小学校学校運営協議会では、次代を担う下中小の子どもたちの健全育成 並びに地域に子どもたちのあいさつを広げたいと考えています。11月2日の第3回は 自治会あいさつの日と初めて連携して行われました。

多くの人に参加し笑顔と明るい声で、心を込めて
あいさつをしましょう。

※のほり旗一式は全てまちづくり委員会で準備しました。



橘北地区まちづくり委員会では、今後も、地域の課題解決に向け取組を進めてまいります。